| 学校番号 | 107 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　改訂版（山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | 明解歴史総合図説「シンフォニア」五訂版（帝国書院） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・資料から歴史的事象の特徴を考察する力を養うことができるよう、教科書や副教材に掲載されている写真や図表、史料の読み解きを行います。
・複数の資料を読み解き、当時の社会の課題や人々の判断を考察し、思考力・判断力を養います。
・各学習課題に対応した知識を習得したり、歴史的な見方・考え方を働かせながら学習内容を説明したりする活動を行います。
・グループワークではほかの人と意見を交換するなかで、自分と異なる視点などを指摘し合い、歴史的に考察する力を身につけていきます。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身につける。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。<br>技能：諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目する。また概念などを活用し多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れ構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それを基に議論したりする力を養う。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。また多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 1 結びつく世界と日本の開国 | 1. 18 世紀の東アジアにおける社会と経済<br>2. 貿易が結んだ世界と日本<br>3. 産業革命<br>4. 中国の開港と日本の開国 | a:教科書の本文、諸資料などから 18 世紀の東アジアにおける社会と経済の特徴を理解している。<br>b:アジア域内貿易のあり方を考察し、表現している。<br>c: 18 世紀の中国や日本と世界の結びつきについて、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>授業プリント提出<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りプリント |
| | 2 国民国家と明治維新 | 1. 市民革命<br>2. 国民国家とナショナリズム<br>3. 明治維新<br>4. 日本の産業革命<br>5. 帝国主義<br>6. 変容する東アジアの国際秩序<br>7. 日露戦争と東アジアの変動 | a:教科書の本文、諸資料などから、国民国家を形成しようとする動きが 19 世紀になって広まった原因を理解している。<br>b:幕末における自由貿易と国内産業の再編が、資本家層の形成につながることを通して、産業革命や資本主義成立との関連について考察している。<br>c:現在の領土問題やグローバル化の進展と主権国家の関係性などの視点をもち、課題意識をもって考察し、その後の学習につなげようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>授業プリント提出<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りプリント |
| | 3 総力戦と社会運動 | 1. 第一次世界大戦の展開<br>2. ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭<br>3. ヴェルサイユ体制とワシントン体制<br>4. 世界経済の変容と日本<br>5. アジアのナショナリズム<br>6. 大衆の政治参加<br>7. 消費社会と大衆文化 | a:教科書の本文、諸資料などから、第一次世界大戦が当初の予想よりも長期化した要因を理解している。<br>b:第一次世界大戦の特徴について、それまでの戦争と比較したうえで考察している。<br>c:第一次世界大戦の展開について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>授業プリント提出<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りプリント |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 4 経済危機と第二次世界大戦 | 1. 世界恐慌の時代<br>2. ファシズムの伸長と共産主義<br>3. 日中戦争への道<br>4. 第二次世界大戦の展開<br>5. 第二次世界大戦下の社会<br>6. 国際連合と国際経済体制<br>7. 占領と戦後改革<br>8. 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向<br>9. 日本の独立と日米安全保障条約 | a:恐慌に向けた財政政策の相違点と長所・短所について、対比して理解している。<br>b:グラフや統計などの諸資料を読みとり、経済状況の画期や政策の転換点について考察し、表現している。<br>c:世界恐慌への対応が国際協調体制を動揺させ、その反省から戦後の国際機関や経済の枠組みが再構築されたという視点をもち、その後の学習につなげようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>授業プリント提出<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りプリント |
| | 5 冷戦と世界経済 | 1. 冷戦下の地域紛争と脱植民地<br>2. 東西両陣営の動向と 1960 年代の社<br>3. 軍拡競争から緊張緩和へ<br>4. 地域連携の形成と展開 5. 計画経済とその波<br>6. 日本の高度経済成長<br>7. アジアのなかの戦後日本 | a:諸資料から、冷戦がアジア・アフリカ諸国に対して与えた影響と冷戦に対するアジア・アフリカ諸国の反応を理解している。<br>b:朝鮮戦争や中東戦争、インドシナ戦争、ベトナム戦争など冷戦下の地域紛争の要因とその影響を考察し、表現している。<br>c:冷戦下でアジアやアフリカ諸国はそれぞれどのような動きを見せていたのだろうかという問いに対して、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>授業プリント提出<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りプリント |
| | 6 世界秩序の変容と日本 | 1. 石油危機<br>2. アジア諸地域の経済発展<br>3. 市場開放と経済の自由化<br>4. 情報技術革命とグローバリゼーション<br>5. 冷戦の終結とソ連の崩壊<br>6. 現代の東アジア<br>7. 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化<br>8. 地域統合の拡大と変容<br>9. 地域紛争と国際社会<br>10. 現代と私たち | a:諸資料から問いを立てることが出来ることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。<br>b:資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて適切に分析し、資料の意義を判断している。<br>c:分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>授業プリント提出<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りプリント |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度